

一月二十七日(水)

〈人間健康学部 健康栄養学科〉

平成二十八年年度 金沢学院大学 入学試験問題（一般入試Ⅰ期）

# 国語

## （注意事項）

解答用紙に「国語」と記入・マークしてから解答してください。

問題は1ページから13ページまであります。

問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用するのには法律で禁じられています。

## （解答上の注意）

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

と表示のある問いに対して

④と解答する時は、下記の（例）のように解答番号10の解答欄の④にマークしてください。

（例）

解答番号	解 答 欄									
10	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

第1問 次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

昨年、僕は俳人・<sup>※</sup>種田山頭火の一草庵を訪ねて、庭からガラス窓越しに部屋の中を覗いた。<sup>のぞ</sup>そこで部屋の中の写真も撮っておいた。そのとき僕が見ていたのは、机や小物の配置など部屋の中の様子であった。しかし、後で写真を<sup>①</sup>ゲンゾウ<sup>ウ</sup>してみると、そこには部屋の中の様子に重ねて、庭の景色も写っていた。カメラを覗いている僕の顔も写っていた。

このことが示しているのは、僕の網膜には前方の部屋の様子だけでなく、後方の庭の様子も窓ガラスに反射した刺激として写っていたはずだということである。カメラならそうしたすべての刺激を<sup>②</sup>チュウジツ<sup>に</sup>再現するけれども、僕には自分がとくに意味を感じている前方の部屋の様子しか見えなかった。

僕たちひとりひとりの生きている世界というのは、そのように意味あるものを求めて取捨選択することで成り立っているのだ。その取捨選択する際の基準となるのが、一定の意味の流れをもった文脈である。

そうした文脈が機能しないことには、僕たちの世界は成立しない。個々の出来事は、意味のある文脈の中に置かれることによって、はじめて安定した意味をもつことができるのだ。文脈の中に置かれる前の出来事は、個人にとっては何の意味ももたない事実の羅列にすぎない。そうした出来事の羅列の世界は、言ってみれば離人症の世界のようなものだ。

離人症患者の典型的な訴えとして、精神医学者の木村敏が例示しているように、周囲の世界が無意味化し、バラバラになってしまふということがある。絵を見ても、いろんな色や形がただ目の中に入り込んでくるだけで、何の内容も意味も感じない。つまり、絵という有意義な全体を<sup>③</sup>カンシヨウ<sup>ウ</sup>することができない。テレビや映画を見ても、細切れの場面場面はしっかり見えているのに、全体の筋がわからない。つまり、ストーリー性をもった全体の流れを楽しむことができない。自分というのも同様で、<sup>④</sup>シユンカン<sup>ごと</sup>に違った自分が何の規則もなくでバラバラに出ては消えていくだけで、今の自分と前の自分との間に何のつながりもない。

ここから言えるのは、僕たちのまわりで起こっている出来事というのは、それだけではただ無意味な出来事が羅列されているだけであるということ。そして、こちらから、つまり見る側がある物語的文脈の網をかぶせることによって、それらバラバラな出来事の中に有意義な連関がつけられ、個々の出来事も意味を帯びてくるということである。

このように、僕たちは物語的文脈を抜きに現実と接することはできない。身のまわりの出来事、自己のさまざまな経験をまとめ上げるのが自己物

語であり、それを獲得することで僕たちは意味のある世界の住人となる。

自己物語が、諸々の経験を統一的な意味の流れのもとに整理してくれる。自己物語を通して、僕たちは目の前の現実や自分自身を意味づけることができる。それが、現実の出来事や自分を理解することなのだ。

目の前で起こっている出来事そのものに意味があるわけではない。それによって、見る側の心に何が喚起されるかが問題なのだ。喚起されたものが意味を構成していく。

同じうまそうなステーキでも、腹がペコペコするときと、うまいものをいっぱい食べた直後の満腹時とでは、見る側に喚起するものは一八〇度違ったものとなるはずだ。記録的なドカ雪が降り積もったいちめんの銀世界も、スキーをしにやってきた人に喚起するものと、そこで生活している人に喚起するものとは、大きく異なっているだろう。

何が喚起されるかを決定するのが、見る側が抱えている物語的文脈である。見る側が物語的文脈を投げかけることで、個々の出来事が意味を獲得し、意味のある世界が目の前に広がってくるのだ。何かが喚起される以前の裸の出来事そのもの、そのままの現実、ありのままの世界を見る目などというのはあり得ないし、<sup>①</sup> そんな世界を生きるということなど考えられない。

映画や<sup>②</sup> マンガの切り離された一コマを見せられても、前後のコマをいくつか見せてもらわないことには、いくら想像力を働かそうとしても、そこに描かれている場面の意味がなかなかつかめないのと同じだ。僕たちは、<sup>③</sup> ある特定の視点をとらないかぎり、意味ある世界を体験することができない。

どんなストーリーの映画なのかについての情報が与えられれば、ある一コマが何を意味する場面なのかを推測することが可能となる。それと同じで、ある自己物語を手に入れ、その文脈を目の前の現実にあてはめることで、身のまわりの出来事に意味を見出すことができるようになる。

日々の生活に意味が感じられない、無意味な毎日が虚しくてしょうがないという人は、目の前の現実の意味を与える文脈として機能する自己物語をもっていないのである。毎日が虚しいのは、意味を感じさせてくれない現実の問題があるのではなくて、現実の意味を与える文脈を投げかけることのできない自分自身に問題があるのだ。<sup>④</sup> 気持ちのもちようで色あせていた世界が輝いてくるなどと言われたりするもの、こうしたメカニズムをさすものと言える。

世界と自分を意味ある形につなげてくれる自己物語をもつことで、目の前の世界に意味があふれてくる。意味を経験する 一 として、現実の出来事と自分をつなぎ、世界を意味づける物語的枠組みを獲得する必要があるというわけだ。

※種田山頭火：一八八二年～一九四〇年。山口県生まれ。漂泊の俳人として知られる。諸国を巡った末、松山市の一草庵で没した。

(榎本博明『ほんとうの自分』のつくり方)による)

問1 傍線部①～⑤に当たる漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中から、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は  ～ 。

① ゲンゾウ

① ゲンコウ一致の政治家。

② 利益を消費者にカンゲンする。

③ ゲンコウの法律に従う。

④ ゲンシユクな雰囲気。

⑤ 彼の言動にゲンメツする。

② チユウジツ

① チユウコクに従う。

② チユウシヨウ画を展示する。

③ セツチユウ案を提示する。

④ 貨幣をチユウゾウする。

⑤ けんかをチユウサイする。

③ カンシヨウ

① 人質をカンキンする。

② カンキユウ自在のピッチング。

③ カンルイにむせぶ。

④ 窓を開けてカンキする。

⑤ 市役所でインカン証明を発行してもらう。

④ シユンカン

① シユンビンな動き。

② シユンジに変化する。

③ ソウシユンの候。

④ シユンの野菜を使った料理。

⑤ 一門のシユンエイ。

⑤ マンガ

① 注意がサンマンになる。

② ガスが部屋にジユウマンする。

③ キヨマンの富を誇る。

④ マンセイシツカンを治療する。

⑤ 地元料理をマンキツする。

問2 傍線部(ア)「そんな世界を生きるということなど考えられない」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。問題番号は 6。

- ① 私たちの生きている世界は、一定の意味の流れを持った文脈によって現実が起こっている出来事を取捨選択したことでもたらされるものだから。
- ② 私たちの生きている世界は、虚しい毎日から目をそらそうとする自己物語によって、自分にとって都合のよい仮想の現実に置き換えられたものだから。
- ③ 私たちの生きている世界は、個々の意味を持った出来事の連続で成り立っており、物語的文脈はその連続によって絶えず新しいものに更新されているから。
- ④ 私たちの生きている世界は、実在する一つ一つの出来事で成り立っており、意味あるものとして把握される物語としての世界は、実在するものではないから。
- ⑤ 私たちの生きている世界は、個人個人がそれぞれの物語的文脈で意味づけたものを、皆が共有できるより大きな物語に統合しようとする営みそのものであるから。

問3 傍線部(イ)「ある特定の視点」とあるが、これと同じ意味を表す本文中の語句として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 7。

- ① 有意義な連関
- ② 喚起されたもの
- ③ 今の自分
- ④ 見る側が抱えている物語的文脈
- ⑤ 裸の出来事そのもの

問4 傍線部(ウ)「気持ちのもちようで色あせていた世界が輝いてくる」とあるが、本文の論旨に即した説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 8。

- ① 現実の姿は、見るといふ行為ではなく見えないものについての想像力の統一感に左右されるということ。
- ② 現実の姿は、無意味な事実の羅列を受容する見る側の精神状態によつて左右されるということ。
- ③ 現実の姿は、それを意味あるものとして統合する見る側の物語的文脈に左右されるということ。
- ④ 現実の姿は、見るものの側にある文脈と見られる側の事実とのバランスに左右されるということ。
- ⑤ 現実の姿は、そこで生きる個人個人が世界と結ぶ統一的な意味の流れによつて左右されるということ。

問5 空欄「一」に入る最も適当な語句を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 9。

- ① 結論
- ② 例証
- ③ 前提
- ④ 原因
- ⑤ 確認

問6 本文の論旨に即して、我々の網膜に写るものと我々に実際に見えるものとの違いについて説明した①～⑤の中から最も適当なものを、一つ選べ。解答番号は 10。

① 我々の網膜に写るものは、ばらばらな出来事の集積に過ぎないが、我々に実際に見えるものは、その集積が物語的な想像力によって劇的な構成へと組み立て直されたものであり、ありのままの現実をはるかに超えた可能性の世界である。

② 我々の網膜に写るものは、ありのままの世界そのものであるが、我々に実際に見えるものは、そのありのままの世界の情報がひとつのまとまった意味ある世界を形作るように取捨選択され、互いに関係づけられて整頓されたものである。

③ 我々の網膜に写るものは、カメラと同じく客観的な視線によつて捉えられた世界であるが、我々に実際に見えるものは、見るものの意識のみが反映された意図的に選択された世界である。

④ 我々の網膜に写るものは、意味のない虚無と沈黙の世界であるが、我々に実際に見えるものは、生きる意味を絶えず問いかけてくる対話的な関係が成立している世界である。

⑤ 我々の網膜に写るものは、イメージや意味が喚起される前の抽象的、固定的な世界だが、我々に実際に見えるものは、様々な意味やイメージが絡み合つて新しいものを産んでいく、意味やイメージが自己増殖する世界である。

## 第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～8）に答えよ。

「自分」は若き数学者である。アメリカで苦勞しながら研究生生活を続け、コロラド大学でついに教員として採用された。いよいよその初講義の時  
間が迫って来た。

緊張が徐々に高まってくる。トイレに立った。机上に開かれた教科書に目を通しながら、所々に「要を得た説明があったりすると下線を引いてその部分の文章を丸暗記したりする。教室で①シユウモクにさらされてる自分を想像しては最後のリハーサルをする。自己紹介、特にあらかじめ用意した冗談の部分を最終おさらいしていると、ドアが開いたままであったことに気づき慌てて閉め切った。

一人だけの部屋で、身振り手振りよろしく、表情豊かにしゃべったり笑ったりしているのを他人に見られたら②チメイテキにまずい。なかなかうまく行かず、言うべきことを忘れたり、とちったりする。時計を見るとあと五分しかない。再度、トイレに立つ。ふと、小学校の運動会で徒競走の前には必ずトイレに駆け込んだことを思い出して苦笑した。

それでも、手を洗いながら、緊張のやや軽減されたことにほっと一息ついた。鏡の前で頭髮を整えながら、顔はいくぶん蒼白気味であるが、目は割りと鋭く、迫力もある、と思ったりする。よし、ここまできたらなるようになれと諦めて、バンドを締め直し、教科書を左の小脇に部屋を出た。

諦めると少しは度胸が坐<sup>す</sup>つたらしく、廊下を歩きながら、得意の「王将」などが口から出てくる。そうだ、この調子だ、と思ったものの、向うの角を曲がって来る金髪の女子学生が見えたのでただちに歌は中止。目差す教室であるCR.1―7に着くには一分もかからないから、このままでは学生より先に着いてしまう。それでは威厳は保てまいと考え、少し遠回りして数学科のオフィスに立ち寄ることにする。いつも陽気なブラジル系美人の秘書サンデイと冗談の一つも交わせばちょうどよい時間になるだろう。

オフィスを出るとロビーは教室を移り変える学生たちで、ごった返していた。

自分より図体の大きいのが多いが、どうせ喧嘩は弱いに違いないと思ったり、強そうなのを見ると、頭は弱はずだ、などと思ったりしながら、群シユウをぬって歩いた。

前もって午前中に下見しておいたCR.1―7はすぐそこだ。

開かれたドアからそれとなく覗くと、定刻だというのにまだ立っている者などがいてざわついている。教授たるもの、やはり、全員着席し、

Ⅰ を打ったような静寂じやくの中をゴホンと咳払いせきと共に入場すべきだ。とつさにそう閃ひらいたので、そのまま教室の前をⅡ何食わぬ顔なんじくわぬで素通りし、建物の内部を一周することにした。

一周して帰って見ると、ドアから出入りする者はいないし、静かになっているようだ。いよいよと思うと、喉がカラカラに乾いていることに気づき、廊下の水飲みに寄って、冷水を一飲みした。いくら湿度一〇パーセントそこそこのいう異常乾燥のコロラドであっても、乾き切ったノドでは学生に緊張を見破あなられ、ひいては侮あなられることになる。

さあ入室せねばならぬ。入室直前に、

「Ⅲよし、バカヤロウどもをなめてやろう」と、無理矢理に自分に言い聞かせた。

猫背を垂直にし、堂々と胸を張り、満場の注目を一身に浴びて入場した。と思ったのだが、実は、五、六人の学生が、チラと一瞥ぱしただけで、誰も注目しようとしな<sup>①</sup>い。Ⅳとはこのことだ。

シユンカン、なめられた、と感じ、焦りを覚えた。黒板の前にある教卓の上に教科書を思い切りドスンと置いて、まだ三十人程度の学生のうち十人ほどしか気が付かない。気が付いても無視して、また、机に向かって何かし始める。よしこうなったら全員がⅤワガハイ③を注目するまで、黙って立ち続けようと覚悟した。礼儀をわきまえぬ奴らは、甘やかすと癖になる。とは言っても、実際は、注目させるのに何と言ってもいいか分からなくて困り果てていたのだ。

Attention please では国際空港みたいだし、Please look at me ではⅥヒロカ見せ物だし、Listen please ではⅦアイガンテキ④すぎる。

しかし、もの数秒とたたぬうちに、次々に何人かが顔を上げて注目し始めた。

よし、好よい調子だ、と思ったが、よく見ると、彼らの目はまだ「どこの東洋の馬の骨だか知らないが、黒板の前に何で立ってやがるんだ」的な目だ。

アパートの下階に住むある奥さんに、大学で数学を勉強していると言ったら、それでは一年生ですか、と問われたのを思い出し、イツシユン、Ⅷイヤな気になる。日本人は年齢より若く見えて、時には有利なのだが、今日は明らかに不利だ。

しかし、立っているというのは、坐っている連中に対して何と優位な位置であることか。彼らの頭上一メートルから見下ろしているというだけの物理的状态がただちに、自分と彼らとの間に一種の主従関係みたいなものを築き上げていたのだ。

こうなれば簡単だ。後は何を言ってもよい。

まず、<sup>(オ)</sup>心理的優勢をなるべく早く固定するために、

「これは Math.240 の SECTION 10 の教室ですね」

と、ごく事務的に最前列に坐っている色白の男（いや、当たり前だ、皆白人だったのだから）に話しかけた。もちろん、そうだと答えたわけであるがまだ尊敬の念が目にもつていない。あれは、授業が急に中止になったことを伝えに来たアルバイトの学生に対する目つきだ。「<sup>(キ)</sup>チクシヨウ！」と思ったが、全員の注目を集めることには完全に成功したので、一応<sup>(カ)</sup>委細構わず始めることにする。

「私が、今学期、Math.240 を教える、藤原正彦です」

と言って、黒板の真中に名前を大きく、<sup>(キ)</sup>むろん漢字で書くと、皆がどっと笑ったので初めてホツとした。

（藤原正彦『若き数学者のアメリカ』による）

問 1 傍線部①～⑤に当たる漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中から、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 11 ～ 15。

① シユウモク 11

① 週刊誌にアイドルのシユウブンが載る。

② シユウカ敵せず。

③ 趣旨をシユウチさせる。

④ 非難のオウシユウとなる。

⑤ 呉越ドウシユウ。

② チメイテキ 12

① 大臣のチグウを得る。

② 厚顔ムチ。

③ グチを聞いてやる。

④ チセツな絵。

⑤ 工場をユウチする。

③ ワガハイ 13

① ハイスイの陣を敷く。

② 書類をハイキする。

③ 肉のフハイが進む。

④ 科学者をハイシユツする。

⑤ クハイをなめる。

④ アイガンテキ 14

① アイトウの意を表する。

② アイソのいい人。

③ アイキドウの道場。

④ アイシヨウがいい二人。

⑤ 永年のごアイコに感謝する。

⑤ チクシヨウ 15

① 母屋をカイチクする。

② チョチクを奨励する。

③ ボクチクが盛んな国。

④ 敵をクチクする。

⑤ チクバの友。

問2 傍線部(ア)「要を得た」、傍線部(イ)「何食わぬ顔」、傍線部(カ)「委細構わず」の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中から一つずつ選べ。解答番号は(ア) 16、(イ) 17、(カ) 18。

(ア) 要を得た 16

① 理解に役立つ ② 大事な点を押さえた ③ おもしろい表現の

④ 専門的な内容を含む ⑤ 自分の思いと全く同じ

(イ) 何食わぬ顔 17

① 物欲しそうに見える顔 ② もったいぶった偉そうな顔 ③ そんなことは知らないといった顔

④ 感情が分からない無表情な顔 ⑤ 白けたつまらなそうな顔

(カ) 委細構わず 18

① 思い切って ② 恐る恐る ③ 無我夢中で ④ 余裕を持って ⑤ 遠慮なく

問3 空欄一、空欄二にあてはまる語句を、次の各群の①～⑤の中から一つずつ選べ。解答番号は、一 19、二 20。

一 ① 水 ② 鐘 ③ 波 ④ 底 ⑤ 心

二 ① 万事休す ② 茫然自失 ③ 拍子抜け ④ 引くに引けない ⑤ 案に違わず

問4 傍線部(ウ)「よし、バカヤロウどもをなめてやろう」と、無理矢理に自分に言い聞かせた。」とあるが、この部分からうかがえる「自分」の心理について、次の①～⑤の説明の中から最も適当なものを一つ選べ。解答番号は 21。

- ① わざと高慢な態度を装うことで、安易に異国の風土に迎合しようとする自らの弱さを戒めようとしている。
- ② 野卑な言葉づかいをすることで、自分の中から教師臭さを取り除いて学生と対等に向き合おうとしている。
- ③ 西洋人に対して抱いてきたコンプレックスを解消するときがついにやってきたと、抑えきれぬ喜びに勇み立っている。
- ④ から元気を出して自らの戦闘心を鼓舞し、はじめて異国の教壇に立つ不安な気持ちを抑えつけようとしている。
- ⑤ 日本人の代表として教室と言う知の真剣勝負の場に臨もうとしているのだと、高揚した気分をさらに盛り上げようとしている。

問5 傍線部(エ)「イヤな気になる」とあるが、「自分」がここで「イヤな気になった理由について、次の①～⑤の説明の中から最も適当なものを一つ選べ。

解答番号は 22。

- ① 年齢より若く見られることで、数学教師としての経験が足りないと見られるのではないか、という疑念が生じたから。
- ② 若く見られるために、授業において学生が自分の容姿にばかり注目するのではないか、という疑念が生じたから。
- ③ 若く見られることで、自分が実力以上に優秀な数学者だと誤解されるのではないか、という疑念が生じたから。
- ④ 自分が若く見られ過ぎて、教員として認知されていないのではないか、という疑念が生じたから。
- ⑤ 若く見られることで、学生たちに誤った仲間意識を持たれるのではないか、という疑念が生じたから。

問6 傍線部(オ)「心理的優勢」とあるが、この語が表す具体的な内容について、次の①～⑤の説明の中から最も適当なものを一つ選べ。

解答番号は 23。

- ① 単純な空間的上下の位置関係が心に作用して生まれる、支配する教員と支配される学生という関係。
- ② 見下ろすという動作が心にゆとりをもたらすことによって生まれる、優越感を持った教員と劣等感を持った学生という関係。
- ③ ただひとり教室で立つことが許された存在であることで生まれる、唯一絶対の存在である教員とその他大勢である学生との関係。
- ④ 高いところから監視することによって生まれる、自由を奪うものとしての教員と権力と闘おうとする学生という関係。
- ⑤ 物理的な関係が身分と関係をもつという伝統によって生まれる、尊敬される教員と愛される学生という関係。

問7 傍線部(キ)「むろん漢字で書くと」とあるが、「自分」が名前を漢字で書いた理由について、次の①～⑤の説明の中から最も適当なものを一つ選べ。

解答番号は 24。

- ① 学生が分からない漢字で書くことは、数字で出来た数学の世界にユニークな発想を持ち込んでやろうというメッセージとなるから。
- ② いきなり漢字で自己紹介するという意表を突く行動でアメリカの学生にショックを与え、今後の授業で主導権を取りたかったから。
- ③ 日本人としての自分に誇りを持ち、たとえ学生が読めなくても、堂々と漢字で書くという行為自体でその思いを示したかったから。
- ④ 西洋人になく独特の世界が漢字文化圏に広がっており、西洋中心に物事を考える学生たちの意識を変えていきたかったから。
- ⑤ 多様な文化を受容するアメリカであればこそ、日本人としての個性をアピールした方が歓迎されるという確信があったから。

問8 この文章における表現や構成の特徴について述べたものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 25。

- ① アメリカへの愛憎半ばする屈折した心理を、繊細で内面的な文章でつづっている。
- ② アメリカで権威を示そうと必死になっている自分の心や行動を、ユーモラスに描いている。
- ③ 異なる文化を理解する難しさを、具体的な例を豊富に示すことで伝えようとしている。
- ④ アメリカの大学の教員となった喜びが、淡々とした文章の中から浮かび上がる。
- ⑤ アメリカでの青春の日々を懐かしむ気持ちだが、回想形式の文章の端々から感じられる。